

新型コロナウイルス感染症対策として

交流自治体の南相馬市から応援職員が派遣されました

杉並区の新型コロナウイルス対策については、これまで区役所全庁による応援体制、東京都応援職員及び民間派遣職員の配置等などにより対応してきました。

新規感染者数は徐々に減少しているものの、今後想定される第6波に向けての対応も求められている中、交流自治体である南相馬市から、新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年10月4日から12月24日まで、1カ月交替で応援職員（延べ保健師3名、事務職員等8名）を派遣していただくこととなりました。

杉並区と南相馬市は、災害時相互援助協定を締結し、震災直後から現在まで、派遣要請や協定に基づき、復興計画づくりや災害復旧工事など復興に向けた支援などを行うため、職員派遣・人事交流を行ってきました。また、日常的にも物産展やさまざまなイベントを通じて住民交流を中心とした友好と親善を深めてきました。

本日、杉並区役所にて、10月4日から派遣される応援職員4名（保健師1名、事務職員3名）の発令式が執り行われました。

田中良区長からは、「第1波から第5波まで、これまで常に新しい課題があり、これからも過去経験したことを応用して答えをだしていかなければならない。皆様には、実際に保健所の状況を体験して、ご意見をいただきたい。大いに期待しています。」と挨拶がありました。

南相馬市職員で保健師の坂本雅（さかもとみやび）さんは、「南相馬市でコロナ対策に携わってきているので、震災復興でお世話になっている杉並区に少しでも、恩返しができるという気持ちで来ました。」と、意気込みを語りました。

本日から、杉並保健所にて新型コロナウイルス対策業務に従事していただきます。



【問い合わせ先】

総務部人事課：TEL 03-3312-2111 内線1511

総務部広報課：TEL 03-3312-2111（代表）